



Kichijoji Catholic Church
カトリック吉祥寺教会



教会報

2025年9月号

キリストのうちにわたしたちの復活の希望は輝く

(2025年度吉祥寺教会年間テーマ)



神言修道会創立150周年にあたって

主任司祭 B. Nowak svd

2025年9月8日、神言修道会は創立150周年を迎えます。この日、名古屋の南山教会にて日本管区による記念式典が行われ、管区集会の後、菊地功枢機卿と教皇庁大使ご臨席のもと、記念ミサがささげられます。また、神言会が担当する小教区や修道院でも感謝のミサが行われ、日本管区の仲間とともに喜びを分かち合います。

このお祝いの準備は、昨年9月8日から始まりました。この1年間、多彩な活動が計画・実施されてきました。動画やパネル展示、記念シャツやグッズの作成、各小教区や地区での記念ミサ、講演会、インターナショナル・フェスタ、さらに「神言会を知る旅2025」と題した巡礼も行われました。これらの行事は、神言会の歩みを振り返り、その精神をより深く理解し、会員としてのアイデンティティを新たに作る貴重な機会となりました。

私にとって自分の生き方を振り返る良い機会となったのは、神言会兄弟会員や聖霊会シスターのために講話を準備したことです。テーマは「私のうちに生きておられるイエス・キリスト」これは神言会会憲の序文にある “His life is our life, his mission is our mission” (キリストの命は私たちの命、キリストの使命は私たちの使命) という言葉に由来します。

神言会（神の言葉の会）の会員であることは、イエス・キリストの命と使命にあずかることです。言い換えれば、生ける神の言葉であるイエス・キリストに深く結ばれ、ともに生きながら、そのみ言葉を宣べ伝えることです。この生き方によって、多くの人々に永遠の命の源であるキリストへの道を示すと同時に、自らもキリストと一つになる希望を抱いて歩むのです。

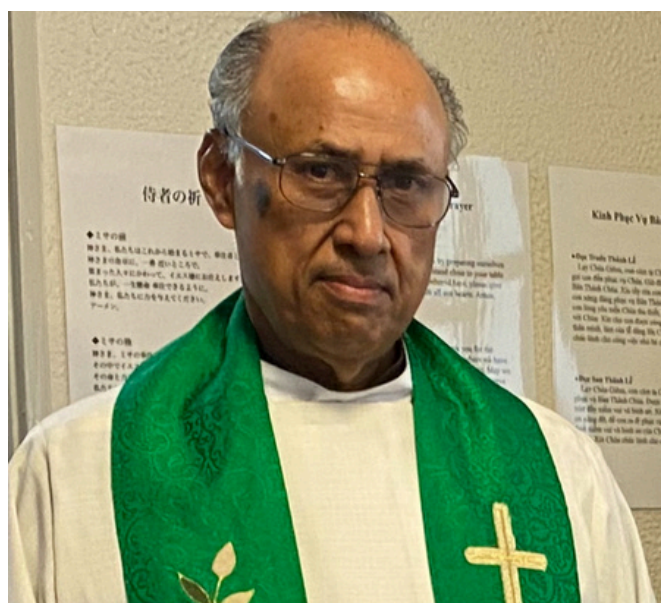
現在、世界79か国で約6,000人を数える神言会の会員は、日々この道を歩み、多くの人々に永遠の命の言葉を伝えています。この歩みは、私たちを支え、協力してくださる多くの方々のおかげで成り立っています。この機会に、心から感謝申し上げます。

神言会創立者アーノルド・ヤンセンはこう語っています。「福音を宣べ伝えることは、隣人愛の最初かつ最大の行為です」どうか、これからも多くの人々が私たちとともにキリストの命と使命にあずかり、その生き方をもって永遠の命の言葉を宣べ伝え、キリストとの交わりを深め、愛のうちに成長していくことができますように、お祈りいたします。

司祭団からのメッセージ

神言修道会創立150周年を心よりお祝い申し上げます。これまで宣教を支えてくださった皆さまの祈りと協力に深く感謝いたします。今後も聖霊に導かれ、神の愛を世界に伝える歩みが豊かに祝福されますよう祈ります。

ヒ神父



吉祥寺教会の兄弟姉妹の皆様、神言修道会は今年150周年を迎えます。この節目に、吉祥寺教会共同体の兄弟姉妹の皆様の祈りによる支えに深く感謝いたします。神言修道会がイエス・キリストの福音の教えをこれからも広めていけるよう、皆様の貴重なお祈りを心よりお願い申し上げます。

ボスコ神父

神言会150周年を祝い、神様の豊かな恵みと先輩方の深い信仰に感謝しています。キリストの光を輝かせた先輩方に倣い、私たちも世界に神様の愛を伝え続けることを祈っています。

ザック神父





「希望はわたしたちを欺くことはありません」

(ローマ 5:5) その3

主任司祭 B. Nowak SVD



1. 幸福への欲求

人間の行動の最も深い動機であり、最大の原動力となるものは、「幸福を得たい」という欲求です。これは驚くことではありません。なぜなら、人間は本来、真の幸福のために創られた存在であるからです。

それにもかかわらず、多くの人は「本当に自分が求めている幸福とは何か」すなわち「人間にとっての真の幸福とは何か」を深く考えようとしません。これは不思議なことと言えるでしょう。

1.1 幸福についてのさまざまな考え方

「人間の幸福とは何か」という問いは、単なる理論や哲学的な議論ではありません。非常に実践的で重要な問いです。なぜなら、私たちが真の幸福つまり、人間が創造された目的である幸福—を追い求めるかどうか、つまりそれを本当に手に入れられるかどうかを左右するからです。また、人が何を「幸福」とみなすかは、その人の生き方や自己理解、他者との関係、さらには精神世界と物質世界との関わり方を大きく左右します。

とは言え、たとえ幸福とは何かについて深く考えていなくても、人は「幸福とはこういうものだ」という信念や確信を、自然と持っています。多くの人は、自分の欲しいものが手に入り、それによって満足感や喜び、幸福感を感じるという日々の経験から、「すべての欲求が満たされれば幸せになれる」と信じているようです。

しかし、果たしてすべての欲求を満たすことが可能でしょうか？ また、欲求を満たすことができれば、人は真に幸福になれるのでしょうか？

まず、多くの場合、私たちは自分の欲しいものをすべて手に入れることはできません。能力や環境には限界があるからです。そして仮に、すべてを手に入れられる力があっても、それでも満たされるとは限りません。なぜなら、私たちの欲求はしばしば互いに矛盾し、一つを満たすことで別の欲求を犠牲にしてしまうことがあるからです。

さらに、たとえ欲しいものを手に入れて喜びを感じたとしても、その感覚は長くは続きません。やがて薄れ、しばしば空虚感や失望感さえ伴います。そして満たされたはずの欲求は消えるのではなく、より大きなものへと膨らんでいき、それを満たすためには次第により多くのものが必要になります。

つまり、「欲しいものを手に入れることで幸福になれる」という考え方では、永続的な幸福にはたどり着けないのです。中には、他者から認められることや、自己実現、目標達成などを通して、満足感・充実感・達成感・幸福感を得ようと努力する人もいます。これらの感覚は、物を得ることで得られる喜びよりも、深くて持続的なことが多いですが、それでも永遠には続かず、再び同じような努力を繰り返す必要が出てきます。

また、善行一特に他者を助けること一によって、さらに深い幸福感を得られることもあります。しかし、それが真に無私の愛から来るのではなく、「自分が幸福に感じるため」に善行を行うのであれば、物質的な幸福を追い求める人生よりは豊かで人間らしいものになるとは言えますが、その人の心の深い渴きは癒されず、完全で永続的な幸福には至りません。

1.2 人間の限界が示す人間の偉大さ

人間は、他の生き物とは異なる、特別な存在です。私たちはこの世界の一部でありながら、私たちの欲望はこの世界の枠を超えています。どれだけ大きな望みを叶えても、やがてその満足は薄れ、さらに大きな何かを求めるようになります。つまり、この世界には、人間のすべての欲望を完全に満たし、真の幸福を与えられるものは存在しないのです。

この現実、人間の大きな限界であり、多くの苦しみの原因でもあります。そして、自分自身の状況を真剣に見つめる人は、「この世で完全な幸福を得ることはできない」と気づき、その可能性や希望すらないと感じるかもしれません。多くの人が、この事実を前にして「人生には意味がない」と結論づけてしまうのも無理はありません。

しかし実は、この「限界」こそが、人間の「偉大さ」の証でもあるのです。この世で満たせる欲望が私たちの行動に意味や目的を与えるように、この世では決して満たされない大きな渴望こそが、人間の人生の目的を、そしてこの世を超えた存在の意味を示しています。

人間の行動、ひいては人生そのものは、「永遠の命」という可能性が開かれているときにはじめて、真の意味を持ちます。しかし、人間は自らの内にはこの可能性を持っておらず、それを外から受け取るしかありません。この「賜物」によってこそ、人間の希望は確かな土台を得て、究極的な完成を迎えることができるのです。希望は、目に見える世界の限界を超えてはじめて、真に確かなものになります。つまり、この世の法則に縛られない「誰か」や「何か」にその拠り所を持つとき、希望は揺るがないものとなるのです。この意味で、人間の希望が本当に意味を持つためには、「絶対的な存在」と、その存在に根ざした希望が必要です。

キリスト者が抱く希望は、まさにそのような希望です。このことについては、次の記事で詳しくお話しします。

日曜学校教会合宿

8月1日から3日まで、日曜学校は教会夏合宿を行いました。司祭団のご厚意により信徒会館全館をお借りし、また保護者や卒業生の助けもたくさんいただき、3日間子ども達はキラキラと輝いていました。水遊びやゲームで思い切り遊ぶ一方、ミサ、テゼで静かで深い祈りの時間も仲間と共有しました。テーマプロという学びの時間も真剣に取り組みました。3日間、泣いたり笑ったり、思い出をたくさん作りました。アンケートを通して参加者保護者や信徒の皆様のお声をいただき、至らないところは来年しっかりと見直して改善していこうと思います。今後も日曜学校を温かく見守って頂ければ幸いです。＜日曜学校リーダー会＞



マリア庭園のお手入れ

8月3日、ベトナムコミュニティの皆さんが、マリア庭園と裏の駐車場の草刈りをしてくださいました。綺麗になった庭園はとても気持ちの良い姿が蘇りました。猛暑の中、一生懸命作業をして下さいましたベトナムコミュニティの皆さま、暑い中、本当にありがとうございました。



ドイツスカウト団来訪



ドイツのスカウト団が吉祥寺教会にいらっしゃいました。セントメリースカウトの創設者であるカール・ライツ神父様の故郷、ドイツフェルバートのスカウトの皆さんが吉祥寺のセントメリースカウトの皆さんとの交流のため、来日されました。夏の間、スカウトメンバーのお家にホームステイをし、活動を共にされたそうです。

10月19日親睦バザー開催



10月19日に吉祥寺教会信徒の皆さんの親睦を目的としたバザーが開催されます。
当日は、教会所属団体の多種多様なお店が出店されます。司祭団のお店も登場予定です！お楽しみに！！
主催はバザー準備委員会となります。
バザーに関するお問い合わせは準備委員会までお願い致します。



昨年のバザーの様子



【献金先アンケート】
バザーで得た収益の献金先を、アンケートによって決定致します。聖堂入り口にアンケート用紙をご用意しております。締切は9月20日までとなります。ご協力の程、宜しくお願い致します。

9月9日より講座が再開されます

曜日	時間	講座名	担当者	場所	備考
火	11:00 毎週・月の第1火休み	聖書入門	ボクダン神父	中ホール	対象: 信者 内容: 福音書
水	11:00 毎週・月の第1水休み	典礼暦	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: 年間の典礼暦を学び、味わう
	19:00 毎週・月の第1水休み	旧約聖書入門(英語) Introduction to the Old Testament	ザック神父	中ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 旧約聖書
木	11:00 毎週・月の第1木休み	聖人伝	ヒ神父	中ホール	対象: 信者 内容: その週・月に祝う聖人について学び分かち合う
	19:00 毎週・月の第1木休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
金	11:00 毎週・月の第1金休み	旧約聖書入門(日本語)	ザック神父	中ホール	対象: 信者、一般の方 内容: 旧約聖書
土	11:00 毎週・月の第1土休み	キリスト教基礎	ボクダン神父	中ホール	対象: 一般の方、洗礼・堅信の準備をする方 内容: カトリック教会の基本的な教え
	15:30 毎週・月の第1土休み	聖書の分かち合い	ボスコ神父	大ホール	対象: 信者 内容: 次の主日の福音を分かち合う

夏休みも終わり、講座が再開されます。
まだまだ残暑ではございますが、9月9日の聖書入門からスタート致します。
是非皆様、ご参加ください。

お知らせ

ミサの時間

主日のミサ・Sunday Mass	
土曜日・SATURDAY	17:00
日曜日・SUNDAY	9:00
	10:30
	17:00
第一日曜日 (英語)	15:00
1st Sunday: (English)	
第二日曜日 (ベトナム語)	15:00
Chúa Nhật thứ hai (Tiếng Việt)	
第三日曜日 (タガログ語)	15:00
3rd Sunday (Tagalog)	
第五日曜日 国際ミサ	10:30
5th Sunday: International Mass	

週日のミサ・Weekday Mass	
月、火、水曜日・MON, TUE, WED	6:45
木曜日・THU	18:30
金、土曜日・FRI, SAT	10:30

【聖堂掃除】

今月の聖堂掃除は**9月28日**です。

【敬老の日】

9月13日、14日の各主日ミサで敬老のお祝いをします。

【親睦バザー】

10月19日開催予定です。

【地区グループ集会】

11月2日から順次開催致します。詳細は後日改めてお知らせ致します。

【七五三】

11月16日10:30ミサの中でお祝いをします。お申し込み等詳細は、後日改めてお知らせ致します。

【吉祥寺教会公式LINE】

週に1度、主任司祭より福音のメッセージと教会からのお知らせが配信されます。是非ご登録ください。



<カトリック吉祥寺教会>

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180

URL <https://svdtokyo.jp/>

<教会維持献金振替口座 郵便振替>

口座番号 00120-1-106084 カトリック吉祥寺教会

<教会事務室受付時間>

火・水・木・金曜日 10:00~15:00

土曜日 10:00~17:00

日曜日 9:00~15:00

